

北川の通信

2024年12月22日

vol. 154

暑い夏秋のち
厳冬？号

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.cocan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>



報告 北川クリーンアップ

10月20日（日）、秋の北川クリーンアップが開催となりました（北川クリーンアップ実行委員会主催、市道路河川課共催）。北川クリーンアップは、北川かっぱの会が誕生した1995年の秋から継続的に開催されている伝統的なイベントです。当日は4つの区間に分かれ、約35名の参加者が北川のゴミ拾いをしました。今回は東村山市シルバー人材センターのボランティアが15名ほど参加してくれました。今回も缶やペットボトル、レジ袋、カップ麺の器など、様々なゴミを拾うことができました。集まったゴミはトラックの荷台に一杯となりました（写真）。北川の中は、全般的に魚影が少なく感じられましたが、川の深みのある場所や橋の下の窪みなどには多くの魚影が見られました。引き続き、川環境の改善が課題と思われました。なお、北川の上流域では、クリーンアップの翌週に河川内の草刈りが行われていましたが、できれば草刈りの後にクリーンアップが行われれば、もう少しゴミを拾うことができたのではないかと考えられました。

報告 今年の魚類調査結果は

北川かっぱの会では「北山いきものクラブ」「東村山菖蒲まつり」「北山わんぱくまつり」にて北川や公園内で採集した魚類等の展示を行っています。日程等詳細は当会ブログ等で確認下さい。また魚類等展示の際に、採捕数やサイズなどを記録しています。

9月に行われた北山わんぱくまつりでの魚類等調査結果は表の通りになります。(公園内の外来種は除く)

個人的に感じた事は以下の通りです。

・ヨシノボリ類について

ヨシノボリは小型のハゼの一種で、以前は数十匹採れる日もありましたが、今年は6回の調査で0～4匹しか採集できませんでした。

「カワヨシノボリ」と「クロダハゼ」が混在しており、昨年から見分けられるものは分けて記録に残そうとしておりましたが、今年は採集した個体のサイズが小さいため判別できませんでした。

また数年前から寄生虫でお腹が膨らんでいる個体が目に付くようになり、カワヨシノボリ特有の寄生虫の可能性があり引き続き調査したかったのですが、そもそも採捕数が少なく、お腹が膨らんでいる個体も確認できませんでした。

・北川でナマズも確認できず
今年川で1個体を目視しただけで、小さいサイズも見かけませんでした。

大暴れするナマズをサッと手網に入れるイメトレをしつつ(できたためしが無い)会える日を楽しみに待ちたいと思います。

・タモロコ、モツゴはしょう

2024年9月15日

魚介類測定調査票(北川/北山公園)

	種名	個体数 (相対数)
魚類	コイ	+
	ギンブナ	2
	オイカワ	38
	カワムツ	46
	モツゴ	9
	タモロコ	15
	カマツカ	4
	ドジョウ	9
	メダカ(類)	+++
	ヨシノボリ類	4
巻き貝	ヒメタニシ	+
	カワニナ	+
	ザカマキガイ	+
エビ	カワリヌマエビ属	+++
	テナガエビ	1
	スジエビ	++
	アメリカザリガニ	++
カエル	トウキョウダルマガエル	1
	ウシガエル 幼生	1
ヤゴ	ヤゴ類	+

+ 少ない ++ やや多い +++ 多い



ちゃん池に多い

北川では以前ほど採れなくなりましたが、しょうちゃん池には多くいるようです。しょうちゃん池には天敵となるウシガエル、ザリガニも沢山生息していますが、北川よりしょうちゃん池の方が住みやすいのでしょうか？

◎活動する中で「北川で採った魚が5年以上生きていますよ」とか「カマツカはどの辺りで採れますか？」など本格的に飼育や採集を楽しんでいる方が訪ねてきて下さいます。

来年も変わらず活動していきますので、是非気軽にお立ち寄り下さい。

報告 川でつながる発表会でパネル展示

12月15日(日)、西東京市で「第20回川でつながる発表会」が開催されました(新河岸川流域川づくり連絡会主催)。当日は、新河岸川流域の川関係の団体が集まり、見学会や発表会、交流会が行われました。過去の発表会では、北川かっぱの会の会員による発表もありましたが、今回はパネルでの参加となりました。

3 保全活動の現状

活動の種類	内容
北川の清掃活動	北川クリーンアップ(1995年～;市と協働)、定例川そうじ(1999年～) →市と連携
調査活動	北川の水質調査(1994年～)、魚類調査(2005年～)、外来生物調査(2013年～)など →市民環境科学の実践
自然体験支援活動	北山わんぱくまつり(1996年～)、小学校の総合的学習の支援(1999年～)、小学校土曜講座の支援(2006年～)、北山いきものクラブ(2017年～)、市民田んぼ(2020年～;市主催)など →市や学校と連携、遊びの遺伝子の継承を
提言活動	未来の川へ(1998年)、外来生物防除関係(2010年)、市民田んぼの創設(2018年)、生物多様性東村山戦略(2020年)など →市の政策にコミット
外来生物対策活動	オオクチバス対策(2006年～)、アカミミガメ対策(2013年～)、ウシガエル対策(2015年～)、市との協定締結(2019年～)、北山公園でかいぼり実施(2010年、2018年;市主催)など →市の政策にコミット

パネル展示例



北山わんぱくまつり



北山公園のかいぼり

**「北川かっぱの会で(と)、こんなことをやってみたい！」
ことを募集します。**

いきもの関係、あそび関係、幼児関係、子育て関係、シルバー世代関係、何でもあります。北川かっぱの会外の地域団体や会員以外の方からの提案も歓迎します。ぜひ声をお寄せください(北川かっぱの会のfacebookやブログ、またはCZT12221@nifty.ne.jpまで)。

川底のイモムシ？

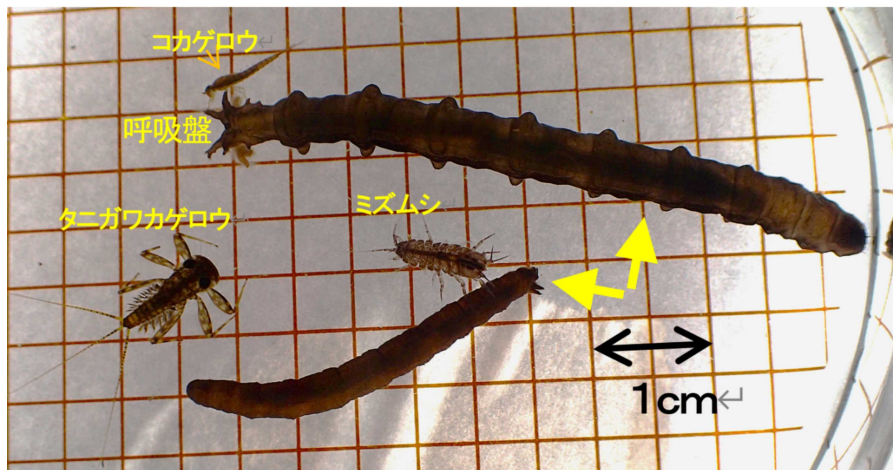
11月末に北山公園へ出かけてきました。公園内も木々の落葉が木枯らしに吹き寄せられてもう冬の風景。北川でも、数羽のカルガモが賑やかにしているものの、花筏ならぬ落ち葉筏が川面をゆっくり流れ行きます。

魚影はある中、川底の生きものでも見てみようかと、持参したスコップで浅い流れの底をかき回して、手網で受けてみると…？ 落ち葉のかげらや砂利などに混じって、写真の水生動物が捕れました。

今回は、これらの中でもひとときわ大きい、イモムシのような生きものの紹介です。体の中がやや透けて見え、伸びたり縮んだりして動きます。実は川で魚を捕るためにガガサをしていると、参加者から「このブヨブヨしたの 何っ？」、「気持ち悪い虫が捕れたんだけど…！」などとよく質問される生きもので、その正体はガガンボ（成虫は超々巨大な蚊のイメージ※）の幼虫です。成虫は、触っただけで長い脚がとれてバラバラになってしまうほど脆弱なのですが、幼虫は‘柔軟性’に富み、見た目はまさにイモムシ！ 陸生（土の中にすむ）のものもいます。水生のものは水底の落葉片などを食べて育ち、種類によっては写真の上の個体の様に長さが6cmほどにもなります。幼虫には脚がなく、呼吸盤（管）がある側が後ろです。

通年みられますし、咬みも刺しもしないので、出会った時は見た目でも気味悪がらずにその触感も含めてよく観察してみてくださいね。〈康〉

※ かっぱ通信146号 生きもの講座116回 で成虫の紹介があります



報告 今年の外来生物捕獲結果と

外来生物慰霊祭の開催

北川かっぱの会では、2013年4月より北山公園のしょうちゃん池や菖蒲田周辺で、在来生物の脅威となっている外来生物の捕獲を行っています。今年の捕獲実績（9月末まで）は、ウシガエル（成体）10、ウシガエル（幼生）64、アメリカザリガニ958、クサガメ5などとなりました（下記の表参照）。この12年間の推移を見ると、北山公園界限では、アカミミガメやクサガメの姿はほとんど見かけられなくなりましたが、ウシガエルは減少傾向にあるものの、依然として多くの姿が見られる状況が続いています。一方、ウシガエルの捕獲が進んだ効果なのか、昨年から実施している春のカエル類の調査では、トウキョウダルマガエルやシュレーゲルアオガエルの個体数が微増傾向にあるようにも感じます。何とかこの傾向が続いてほしいと考えているところです。なお、今年は菖蒲田の水が9月下旬にはほとんどなくなってしまったため、例年より1ヶ月ほど早い9月末で捕獲活動を終了しました。

北山公園周辺におけるウシガエル等の捕獲状況 単位:個体数	2024/9/30現在												
	年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
アカミミガメ		9	11	4	2	5	3	0	1	2	0	0	0
クサガメ (再捕獲を含む)		13	10	8	1	5	2	0	1	0	1	0	5
ウシガエル (成体)		2	1	3	42	106	44	53	63	39	15	8	10
ウシガエル (幼生)		10	24	約550	192	86	282	1137	516	342	201	285	64
アメリカザリガニ		99	126	約550	約760	1127	354	784	779	1037	957	601	958

10月12日には外来生物慰霊祭を開催し、捕獲した外来生物の霊を慰めました（写真）。慰霊祭で改めて感じたことは、個々の外来生物が悪いのではなく、人間の勝手な所業により外来生物が放たれ、多くの在来生物が脅かされ、里山の生物多様性や景観に大きな悪影響を与えているということです。北川かっぱの会では、来年以降も在来生物の生息環境の改善と外来生物の捕獲に取り組んでいきますので、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願いします。

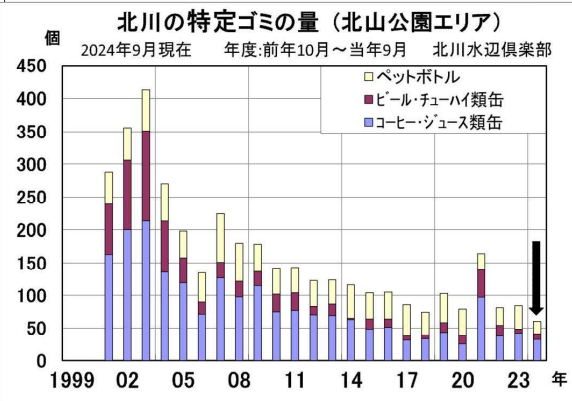
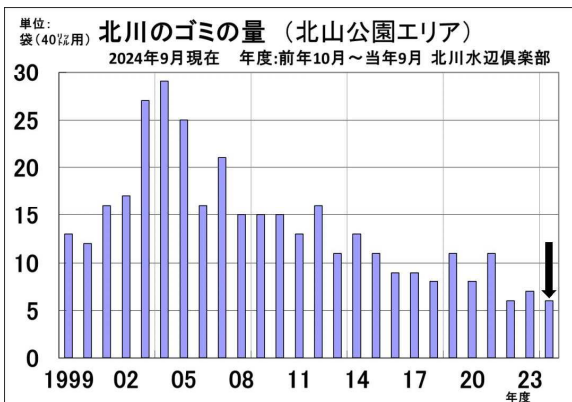


▲アメリカザリガニ

▲慰霊祭

報告 今年のゴミ調査結果

北川かっぱの会では、毎月第2土曜日の午前中に「定例川そうじ」を実施しています（北山小前～西武園線鉄橋下；3月～12月）。川そうじが終了した時に収集したゴミの仕分けを行い、そのゴミの量の計測を行なっていますが、このほど2024年度の調査結果（毎年10月～9月）がまとまりました。ゴミの総量（可燃ゴミ＋不燃ゴミ）は平成16年度をピークに減少しているものの、昨年度と比べ今年度は微減でほぼ前年度並みでした（図参照）。また、ゴミの内、缶やペットボトルなど「特定ゴミ」の本数は、



最も多かった平成15年度と比較し減少していますが、昨年度と比べ今年度は約2割減少しました。さらに、ビンやワンカップなどについては、「危険ゴミ」として別途集計していますが、今年度は1本だけでした。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会では、子どもたちが安心して遊ぶことのできる、地域の住民が愛着をもつことのできるような北川の川づくりを目指しています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



報告 日比谷アメニスグループの レポートで紹介されました

市立公園の指定管理者、アメニス東村山市立公園グループの構成者である日比谷アメニスグループの年刊レポート「サステナビリティレポート」で、北川かっぱの会が紹介されました。北山公園での生物多様性保全のためにスタートした両生類の個体数調査などが紹介されています。

▶日比谷アメニスグループのホームページのトップ画面→サステナビリティレポート→14 ページで全文を閲覧することができます。

Q、日比谷アメニスの指定管理について印象・感想があればお聞かせください。

特に印象的だったのは、今現在小谷野さんと一緒にやってくる北山公園の市民らんの管理ですね。おそらく日比谷アメニスさんとしても、本格的な水田管理は初めてだったのではないのでしょうか。自然を相手にし

Q、今後取り組んでいきたい活動はありますか？

近年、どの公園でも生物多様性をどのように守るかが大きな課題になってきています。そのため、我々もそれを目指せるような活動を少し強化したいです。

2022年からは東村山市と日比谷アメニス

スペシャルインタビュー
北川かっぱの会代表 清水 淳 さん



2025年 1月～3月 活動スケジュール

☎ は ボランティア募集 の略、☎ は 会員のみ の略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会) または直接会員にお知らせください

「かっぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ ☎

3月以降の毎月第2土曜 9～11時
3/8 (土) 集合:北山小正門前

川端会議

2/8 (土) 10-12時; 市民センター。
北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

北山小学校土曜講座 ☎

野鳥観察会 (北山公園と八国山)
1/11 (土) 10-12時; 北山公園あずまや集合 (荒天中止)

かっぱ定例会

1/25 (土) 16-17時半 サンパルネ3階インソール。2025年に重点的に取り組むべき課題などについて検討
同日16時半～新年会 (サンパルネ3階インソール集合)

2/22 (土) 13時半-15時; サンパルネ3階インソール。2025年度活動方針案、4月頃までの活動計画の詳細について検討。

かっぱ総会

3/29 (土) 16:00～18:00 開催予定

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップ-未来の川へ-』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の 生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベ

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。A2両面版。在庫稀少。

『北川・八国山・北山公園
いきものマップ ver2.0』
前記をA4両面サイズにコンパクトにまとめ直したものの。観察会、イベントで無償配布中です。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

- 会費 一般会員:年間3000円
支援会員:2年間で2000円
学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会



●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

●編集後記

毎年の季節の便りは、気候変動の話に由来することばかり。来年の旅先を夢見心地で練っていると最適時期の選択に迷ってしまうことばかり。情報が多くなったけど予測難しいですね。(遊星歯車)

●発行:

北川かっぱの会
連絡 アドレス

CZT12221@nifty.ne.jp



北川かっぱの会